**段位認定試験受験者への注意**

1. **答案記入上の注意**

①答は、定められたらんの中にはっきりと書くこと。

②答の１の位または円の位以上には、３位ごとにコンマ「，」をつけること。

③無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) *0.25 1,427.39 2,905,406*

④端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第３位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面 答

*0.4595*･･････････････*0.460 0.46*

*5.2004*･･････････････*5.200 5.2*

⑤端数の処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) そろばん面 答

*0.45*･･････････*0.45*

*5.2* ･･････････*5.2*

⑥名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) *￥9,528 ￥9,528. 9,528*

〔注〕 答の頭には、円の記号（￥）をつけるのが原則であるが、つけなくてもよい。

⑦答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。

⑧答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

⑨答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を〇または（ ）でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。

⑩コンマや小数点は、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。

⑪同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

1. **その他の注意**

①計算開始の合図があるまでは、文ちん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。

②計算開始の合図があるまでは、問題用紙をおらないこと。

③アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。

④珠算種目であっても、そろばんを使用しないで計算してもさしつかえない。

⑤受験票を紛失したり、忘れたりしたような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。

⑥携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。